



幅広い作物に使えて、
幅広い害虫に効く。

アブマイヤ[®]
顆粒水和剤



使いたい時に使えるコンパクトな密閉ボトル。
農地規模・散布時期、作物にあわせた使用が可能です。
アブラムシ類、コナジラミ類、アザミウマ類などに長い防除効果があります。



®はバイエルグループの登録商標

使いたい分量が、ラクラク計れる計量カップ付。5,000~10,000倍の高希釈タイプ。小容量から大容量までカップ1つで自由自在。

例えば
20g→200ℓ
10,000倍希釈



組み合わせての計量OK!



1g



2g



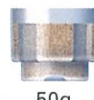
5g



10g



20g



50g

適用害虫および使用方法

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	10アール当り使用液量(ℓ)	使用時期*	本剤の使用回数*	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数*
稲(箱育苗)	ウンカ類 ツマグロヨコバイ	500	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ)1箱当り0.5ℓ	移植2日前~移植当日	1回	3回(移植時までの処理は1回、本田での散布は2回)	3回(移植時までの処理は1回、本田での散布は2回)
	イネミスジノムシ イネドクガイムシ	500~1,000	種もみ4~8kg当り30~40g			種子塗沫(未催芽粉)	
乾田直播水稻			種もみ4~8kg当り30~40g	は種前	1回	3回(種もみへの処理は1回、本田での散布は2回)	3回(種もみへの処理は1回、本田での散布は2回)
湛水直播水稻	ウンカ類	—	種もみ3kg当り30~40g	は種前	1回	3回(種もみへの処理は1回、本田での散布は2回)	3回(種もみへの処理は1回、本田での散布は2回)
かんきつ	アブラムシ類 ミカンハモグリガ クシキスイ類 コマダラカミキリ成虫 コアオハナムグリ コナカイガラムシ類 アカマルカイガラムシ コナジラミ類	10,000	200~700	14日	3回	3回	3回
	ミカンキジラミ	5,000					
げっしつ	カメムシ類 アザミウマ類	5,000~10,000	200~700	発生初期	4回	4回	4回
	ミカンキジラミ	5,000					
りんご	アブラムシ類 リンゴツタムシ	10,000~15,000	200~700	3日	2回	2回	2回
	キンモンボソガ キンモンハモグリガ	10,000					
うめずもも	アブラムシ類	10,000	200~700	21日	2回	2回	2回
	コナカイガラムシ類	5,000					
なし	アブラムシ類 カメムシ類	5,000~10,000	200~700	3日	2回	2回	2回
	アブラムシ類	10,000					
もも	モモハモグリガ カメムシ類	10,000	200~700	14日	2回	2回	2回
	アブラムシ類	5,000~10,000					
ネクタリン	アブラムシ類 モモハモグリガ カメムシ類	10,000	200~700	21日	2回	2回	2回
	アブラムシ類	5,000~10,000					
ぶどう	コナカイガラムシ類 フタテンヒメヨコバイ	10,000	200~700	7日	3回	3回	3回
	アザミウマ類	5,000~10,000					
かき	コナカイガラムシ類 アザミウマ類	10,000	200~700	14日	2回	2回	2回
	カメムシ類	5,000~10,000					
マンゴー パッションフルーツ アデモヤ	アザミウマ類 コナカイガラムシ類	10,000	200~700	7日	2回	2回	2回
なす	アブラムシ類 コナジラミ類 アザミウマ類	5,000~10,000					
ピーマン とうがらし類	アブラムシ類 アザミウマ類	5,000~10,000	200~700	前日	2回	2回	2回
トマト ミニトマト	アブラムシ類 コナジラミ類	5,000~10,000					
きゅうり	アブラムシ類 コナジラミ類 アザミウマ類	5,000~10,000	200~700	3日	3回	3回	3回
すいか	アブラムシ類 アザミウマ類	5,000~10,000					
メロン	コナジラミ類 アブラムシ類 アザミウマ類	10,000 5,000~10,000	200~700	前日	2回	2回	2回
かぼちゃ	アブラムシ類	10,000					
うり類(漬物用)	アブラムシ類 コナジラミ類 アザミウマ類	10,000	200~700	前日	3回	3回	3回
ズッキーニ	アブラムシ類 アザミウマ類 コナジラミ類	10,000					
にがうり	アザミウマ類	10,000	200~700	前日	2回	2回	2回

(2015年12月現在の登録)

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	10アール当り使用液量(ℓ)	使用時期*	本剤の使用回数*	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数*
はくさい				7日		3回(定植時までの処理は1回、散布は2回)	3回(定植時までの処理は1回、散布は2回)
キャベツ				3日		3回(育苗期の灌漑及び定植時の土壌混和は合計1回、散布は2回)	3回(育苗期の灌漑及び定植時の土壌混和は合計1回、散布は2回)
レタス	アブラムシ類	10,000		前日		3回(育苗期の処理は1回、散布は2回)	3回(育苗期の処理は1回、散布は2回)
ほうれんそう				7日		3回(は種時の土壌混和は1回、散布は2回)	3回(は種時の土壌混和は1回、散布は2回)
なばな				7日、但し伏せ込み栽培は伏せ込み前		2回(は種時の土壌混和は1回)	2回(は種時の土壌混和は1回)
みつば						2回	2回
たまねぎ	アザミウマ類	5,000~10,000		14日		3回(定植時までの処理は1回、散布は2回)	3回(定植時までの処理は1回、散布は2回)
ねぎ		5,000					
みょうが(花種)			100~300	前日	2回	散布、但し花穂の発生期にはマルチフィルム被覆により散布液が直接花穂に飛散しない状態で使用	散布、但し花穂の発生期にはマルチフィルム被覆により散布液が直接花穂に飛散しない状態で使用
みょうが(莖葉)	カイガラムシ類	10,000		みょうが(花穂)の収穫前日但し、花穂を収穫しない場合は開花期終了まで		2回	2回
すいぜんじな				7日		3回(は種時の土壌混和は1回、散布は2回)	3回(は種時の土壌混和は1回、散布は2回)
かぶ				21日		3回(培土時の土壌混和は1回、散布は2回)	3回(培土時の土壌混和は1回、散布は2回)
ごんじやく	アブラムシ類			前日		3回(植付時の土壌混和は1回、植付後は2回)	3回(植付時の土壌混和は1回、植付後は2回)
さといも(葉柄)				14日		3回(植付時の土壌混和は1回、散布は2回)	3回(植付時の土壌混和は1回、散布は2回)
さといも							
やまのいも							
茶	チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメヨコバイ チャノボソガ	5,000~10,000	200~400	7日	1回	1回	1回
かんしょ	ツマグロアオカスカメ	5,000		7日	2回	3回(植付前の土壌混和は1回、散布は2回)	3回(植付前の土壌混和は1回、散布は2回)
にんじん			100~300	3日		2回	2回
みしまさいこ				30日	3回	3回	3回
豆類(種実)	アブラムシ類	10,000	80~300	30日		3回(は種時の土壌混和は1回、散布は2回)	3回(は種時の土壌混和は1回、散布は2回)
豆類(未成熟、ただし、未成熟そらめを除く)				前日	2回	3回(定植時およびは種時の土壌混和は合計1回、散布は2回)	3回(定植時およびは種時の土壌混和は合計1回、散布は2回)
未成熟そらめ			100~300	14日		3回(定植時およびは種時の土壌混和は合計1回)	3回(定植時およびは種時の土壌混和は合計1回)
アスパラガス	アザミウマ類	5,000		前日		2回	2回
さく				発生初期	5回	5回	5回
小麦	アブラムシ類	15,000	60~150	21日		3回(種子粉衣は1回、散布は2回)	3回(種子粉衣は1回、散布は2回)
とうもろこし	アブラムシ類	10,000~15,000	100~300			3回(種子粉衣は1回、は種後は2回)	3回(種子粉衣は1回、は種後は2回)
ばれいしょ	オオニジュウヤホシデントウ	15,000	3.2	14日	2回	3回(植付時の土壌混和は1回、植付後は2回)	3回(植付時の土壌混和は1回、植付後は2回)
	アブラムシ類	15,000	1.6				
てんさい	アブラムシ類 カメノコノムシ デンサイモグリハナバエ	300	25	定植時	1回	1回	1回
	デンサイトビハムシ	300~500	1.6				

*印は収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫(摘採)前の日数と、本剤およびその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示しています。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

バイエルクロップサイエンス株式会社
東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262 www.bayercropscience.co.jp

お客様相談室 ☎0120-575-078 9:00~12:00, 13:00~17:00
土日祝日を除く

(F-1069 15.12.15)